

# Star Rafter

contents

- 03 Campus News
- 07 国際交流 News
- 08 Sports News
- 09 地域連携 News
- 10 Career Navi
- 11 高大連携 News



SEISA DOHTO UNIVERSITY

vol.139  
2020/7

## OPEN CAMPUS 開催内容 !!

オープンキャンパスってどんな雰囲気かな？  
一般的な1日のスケジュールをお伝えします！  
教職員と学生スタッフで元気にお出迎えます！

当日の流れ

- 受付
- オリエンテーション
- 学科別プログラム(模擬授業)
- 奨学金&経済支援説明会
- 入試問題対策講座・小論文対策講座
- 学科別キャンパスツアー
- フリートーク・個別面談
- エンディング

※ 詳細は本学HPなどでご確認下さい。

たくさんのご参加  
お待ちしております！



受付では、ピンクのポロシャツを着た学生スタッフが待っています！  
資料が入ったトートバッグを受け取り、オリエンテーションへGO！！



オリエンテーションでは、全体のスケジュールを確認します。学生スタッフが、高校生の皆さんを元気にご案内します！

学科別プログラム(模擬授業)では、大学の授業が一早く体験できます！  
高校までとは異なり、自分で好きな授業を選択して受けるのは憧れですよね！



個別相談では、学生スタッフや教職員が皆さんの相談に応じます。  
大学の雰囲気や入試のことまで、気になることはこの機会に聞いてみよう！



### 通信教育科 受講生募集

本学では通信教育で保育士資格、及び、社会福祉士、精神保健福祉士の国家試験受験資格が取得可能です。  
レポート等の提出と土日のスクーリングや施設実習で学びを深め、資格取得を目指してみませんか。また、介護職員初任者研修や精神保健福祉士養成の実習指導に必須の実習指導者講習会も開講しています。

詳細は大学ホームページ「通信教育課程」をご覧ください。

なお、募集要項の請求や出願資格など、ご不明な点はお気軽に生涯学習課までお問い合わせ下さい。

養成課程	保育士	社会福祉士	精神保健福祉士一般	精神保健福祉士短期	介護初任者研修
期間	3年	1年9カ月	1年9カ月	10カ月	4カ月
学費	80万円(3年総額)	190,000円	340,000円	190,000円	50,000円
入学資格	高卒以上	大卒など	大卒など	社会福祉士など	特になし
募集地域	道内在住の方				

※別途、実習費やテキスト代が必要です。※卒業生割引があります。



ようこそ 星槎道都大学へ！  
新入生インタビュー

新入生のみなさんに、  
大学生活がスタートしたばかりの  
今の気持ちを聞きました！

- ①星槎道都大学に進学した決め手は？
- ②この学科・専攻を選んだ理由は？
- ③高校時代に打ち込んだことは？
- ④大学生活でチャレンジしたいことは？
- ⑤興味がある部活やサークルは？
- ⑥大学生活4年間、今のところの目標は？

- ① 高校の先輩からのすすめです。
- ② 社会に出た時に役立つことを学ぶためです。
- ③ 野球に打ち込みました。
- ④ ボランティア活動です。
- ⑤ 野球部です。
- ⑥ 神宮優勝を目指して取り組みます。



さかもと 直弥  
坂本 直弥  
経営学科  
星槎国際(湘南学習センター) 高校出身

- ① 先生が優しく詳しく授業を教えてくれ、多くの試験対策やその為の資料なども多くあり、とても学びやすそうと他の大学に比べ思った為です。
- ② 自分は将来、一級建築士の資格を取り設計士になりたいと思った為です。
- ③ 高校時代に打ち込んだ事は野球です。よく個人で朝練や居残り練習をし、頑張ってレギュラーになりました。
- ④ 高校の時は部活や学校行事などにだけ積極的に動いていたため、大学では、学校の事だけでなく周りの地域行事やボランティアなどにも参加し、他の人の役に立てるように頑張りたいです！
- ⑤ マリンスポーツサークルです。
- ⑥ 当たり前ですが、まずは無駄に休まず4年間しっかり通い卒業します。どんなことでも積極的にやりたいです！



ひらおか 大輝  
建築学科  
北海道北広島西高校出身



みやかわ 真綾  
社会福祉学科  
旭川明成高校出身

- ① 今まで美術をやっていなかったけれど、星槎道都大学なら初心者でも頑張れると思ったからです！
- ② イラストレーターになりたいから選びました。
- ③ 部活！バドミントン！
- ④ たくさんの人と関わりたいです。
- ⑤ 軽音部です。
- ⑥ 本当にイラストレーターを目指したいのかわからないので、自分のやりたいことをハッキリさせて、絵を上手くなれるよう頑張ります。

- ① オープンキャンパスで先輩と先生方の距離が近く親身になって話合っていることが印象に残ったからです。
- ② 社会福祉の資格が受けれることと保育士の資格が卒業と同時に取れるから選びました。
- ③ 部活動です。部員とぶつかり合うことがありましたが話し合いながら最後まで取り組みました。
- ④ 大学で学んだ知識を活かしてボランティア活動などに取り組みたいと思います。
- ⑤ これから見つけていきたいです。
- ⑥ 色々な検定を受けて、資格を少しでも多く取れたらいいなと思っています。



たかはし 琴美  
デザイン学科  
北海道利尻高校出身

学長からメッセージ

今回の新型コロナウイルス感染拡大は、前年度終盤から本学の教育活動にも大きく影響を与えることとなりました。新たに社会人となる卒業生のための卒業式、新たなメンバーを迎え入れる入学式が、続けての中止という異例の事態となり、大変無念な思いを抱いております。

何とか新学期のスタートには漕ぎ着けたものの、各種学内行事だけに留まらず、オリエンテーションを経て当初の僅かな期間で授業休止の已む無きに至りました。

この間、在学生には暫くの自宅待機を要請し、急遽立ち上げたプロジェクトチームを中心とした学内体制を整えて遠隔授業の実施へ移った次第です。

まだまだ日常生活では慎重な行動が求められますが、その後の一定の状況改善の中、入国できていない留学生への対応等の特別な場合を除き、6月16日より教室授業を再開致しました。多くの学生が久しぶりに元気な姿を見せてくれており、一安心しているところです。

今後も新型コロナウイルス感染拡大状況の推移把握を怠らず、細心の注意を払いながら学生教育に臨む所存ですので、関係者の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

星槎道都大学 学長 山本一彦

本学ではコロナ禍の中、全学を挙げて様々な取り組みを行っております。その一部をご紹介します。

まずは感染症拡大対策として原則、学生の登学を禁止して5月21日から全ての科目で遠隔授業を実施しております。各学科で一丸となって学生への準備サポートを行い、短期間で実施に至っております。

また、その準備資金として全学生に一律で「遠隔授業準備等支援金」を給付し、経済的な支援も行っております。

他にはアルバイト先を失い、家計が急変した学生に対して、本学独自の奨学金である「ワークスタディ奨学金制度」を特例で採用枠数や給与額の上限を撤廃して採用し、経済的な支援を行っております。

今後もコロナ禍の変化に対応し、教育活動や各種支援を進めて参ります。



新型コロナウイルスに  
対する取り組み





デザイン学科 三上ゼミ

当ゼミは漫画のゼミです。漫画にかかわることであれば何を研究してもよいのです。漫画というコンテンツを研究してもいいですし、イラストに特化して技術を磨いてもいいですし、もちろん漫画を描いてもいいのです。今年度のメンバーは4年生が6名、3年生が11名、科目等履修生が1名の18名が所属しています。ゼミは一人ずつの面談形式で行いますが、展覧会、学祭、地域活動イベント、コミックイベントなどのときは協力して動きます。また年に2度、ゼミ誌「ZOOマガ」を発行しており、そろそろVol.7のメ切が迫ってきましたので学生を叱咤激励しながら活発に活動しています。



建築学科 佐々木ゼミ

高齢者に対応した建築のあり方と住宅の平面形態。寒冷地における快適な環境の室内と建築物への配慮。これらを二本の基本柱としてゼミの研究を展開しています。建築（物）が果たす役割としての社会や環境への関わり方を考え、一方、その地域から導き出される特有のデザイン『機能美』を学びます。また、建築物の模型作りを大学祭の展示を目標に実施しています。大半が縮尺1/50のスケールのもので、なかなか大変な作業です。この目的は、建築模型の作成をとおして多くの優れた建築作品に学びつつ、空間体験や人々の生活・関係などをイメージする事と、作成の過程において空間構成の楽しさや2次元では表現できない面と面のつながりからつくり出される美しさを学ぶことにあります。



経営学科 三嶋ゼミ

当ゼミのゼミ生は大半が運動部所属のアスリート学生であり、「文武両道」勉強とスポーツ（課外活動）の両立を目指しています。ゼミでは現代社会における健康の位置づけを考え、運動が生涯にわたりそれへどう寄与するかを学びます。からだの構造の基礎的知識を身につけて合理的にパフォーマンスの向上をはかることも大きな目的の一つになっています。また、トレーニング記録の発表では互いに思考・考察、意見交換することで各運動競技の特性を知り、自らの競技のヒントになることもあります。学級的観点からは健全で計画的な学生生活を促し、上級学年へのステップとしていきます。



社会福祉学科 西野ゼミ

当ゼミは、主に精神保健福祉士の資格取得を目指す学生が資格の取得だけでなく様々な経験を体得するために活動しています。精神保健福祉士となるためには知識は前提となりますが、社会常識やコミュニケーション能力など、試験だけでは測れない能力が数多く必要となります。そのため、ゼミとして福祉現場の見学や体験などを通し、経験値を増やしていけるような活動を行っています。また、基本的な姿勢として、ゼミ生全員が参加できるような内容を学生自らが考え、主体性を持った活動を通し、より実践に近い形で学習を行いながら、未来の精神保健福祉士に成長できるような学びを目指しています。



留学生インタビュー

留学生のみなさんに、  
星槎道都大学で学んでいること、  
これからの目標など、いろいろ聞いちゃいました。



ラム ティ タイン ダオ  
LAM THI THANH DAO



経営学部 経営学科 1年 ベトナム出身

将来は自分の会社を設立したいので経営学を勉強したいです。星槎道都大学の経営学部では将来、会社の重要なポジションになるための知識を学ぶことができます。また、通貨のトレーディングシステムに関する知識を身に付けることができます。この知識は将来会社を設立するのに役立つと思います。

さらに、大学で学ぶコンピュータースキルは、学生がグローバル化された環境にすばやく適応するのに役立ちます。そして、大学には留学生への学習プロセスと、日常生活を支援するためのサポート部署もあります。カリキュラムに加えて、日本の文化、ライフスタイル、人々について学ぶための課外活動もあります。

卒業後、5年から7年くらい日本で働き、帰国して夢を叶えることができるように、大学で多くのスキルと経験を身につけたいと思います。



エン バイ シン  
袁 培森



美術学部 デザイン学科 1年 中国出身

将来一人前の工芸作家になることを目指して、星槎道都大学のデザイン学科に入学することを決めました。星槎道都大学では様々な工芸の技術を学べますし、私に合った工芸の種類を選べます。私は星槎道都大学で、自分の努力と大学で習う知識を生かして、自分の考えや理念が溶け込んだ工芸作品のシリーズを作りたいです。これから大学でがんばって、いろいろな技術を身に付けたいと思います。



ベル アン バン  
BE LUAN VAN



経営学部 経営学科 3年 ベトナム出身

将来起業するときに必要な知識を身に付けようと思って、星槎道都大学で経済の勉強をすることにしました。

夢をかなえるためには自分一人の力だけでなく、星槎道都大学の先生方に色々教えていただくことが必要だと思います。星槎道都大学は留学生にとっても思いやりあふれる大学だと聞いたので、この大学に決めました。

日本に来て日本語の能力は身に付きましたが、経営の知識は全くないので、これから勉強していくのは大変だと思いますが、いろんなことにチャレンジしていきたいと思っています。



野沢 宍戸 ビアンカ 秀美



美術学部 デザイン学科 1年 ブラジル出身

漫画やイラストなど、母国では学べないような事を専門的に勉強するために来日しました。以前は母国でデザインを勉強していました。

私は日系人で、親戚が北海道にいます。曾祖母が道民ということもあり、北海道で勉強したいと思います。

母国にいた頃は、地域の日系社会で太鼓やソーラン節をやっていました。日本でも機会があればやってみたいです。

将来は日本で学んだ技術を母国の発展に役に立てたいと思います。企業に入社するか、自分で会社を立ち上げるかはまだ決めていませんが、ゆっくり考えていこうと思っています。

公募展結果報告

～ 道銀展 2020 ～

毎年の恒例となった本展には、第19回佐藤太清賞公募展での受賞作4点と  
入選作4点を展示させていただきました。

会期 2020年5月18日～6月15日 会場 北海道銀行本店1階ロビー



佐藤太清賞  
宮田拓実(北海道札幌英藍高等学校卒3年)  
「黄昏」J50F 油彩



特選一横浜賞  
黒河滯奈(北見藤女子高等学校(※現北見藤高等学校)卒3年)  
「憧憬(しょうけい)」J50F 油彩



特選  
池田純大(札幌光星高等学校卒3年)  
「景(けい)」J50F 油彩



特選  
小林美月(北海道倶知安高等学校卒3年)  
「生花と鹿骨(ししぼね)」J50F 油彩



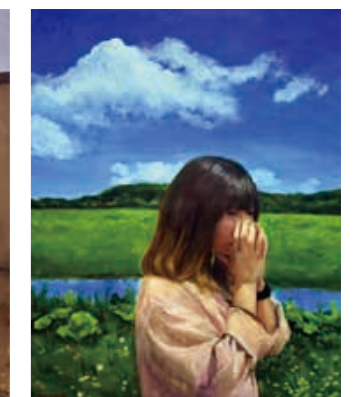
入選  
諸本河奈(旭川龍谷高等学校卒3年)  
「夕景」J50F 油彩



入選  
山中優希(北海道北見商業高等学校卒3年)  
「制御と制限」J50F 油彩



入選  
今井実祐(北海道釧路江南高等学校卒3年)  
「虚無」J50F 油彩



入選  
藤吉美優(東海大学付属札幌高等学校卒3年)  
「春」J50F 油彩

## 由仁町立診療所における フィージビリティ調査報告

本学と包括的地域連携協定を締結している由仁町では、平成30年3月より訪問医療サービスを提供しています。当診療所の事務長から訪問医療を拡充したいとの意向を受け、石山ゼミ3年生は、由仁町および近隣9市町の年代別の人口や将来の高齢化率等の分析を進め、報告書を作成し、由仁町へ提出しました。報告書では、今後、高齢者が増加し訪問医療に対するニーズも高まることから、訪問医療を拡充する場合、市場性に富んでいると結論付けました。微力ながら、由仁町における医療の発展に貢献できるのであれば幸いです。



## 由仁町 保育交流事業

「日頃の学生活動を活かして」

由仁町にある保育園との交流をご紹介します。いつもはこども保育専攻の学生が園児と遊ぶ交流体験を実施していますが、ラグビー部と合同で企画した『ワン・チームになろう!』では、学生と子どもたちがボール回しやリフティング体験を楽しみました。

また、デザイン学科の学生が制作した赤べこ(福島県に伝わる民芸品です)の張り子に色を塗る体験も企画! 年長児全員分の張り子を制作してくれた学生も一緒に参加し、子どもたちと色塗り体験を楽しみました。

子どもへの刺激とともに、学生の日常的な活動が地域で役立つことを実感できるのがうれしいですね。



## じゃらん6月号に掲載 「きたひろしま農園マップ」作成

北広島市学生地域活動の一環として、昨年北広島市経済部農政課からの依頼で「きたひろしま農園マップ」をデザイン学科の地域活動研究同好会メンバーが作成。すべて手書きのイラストにこだわり、通常画像が使われる広告などもイラストで統一し、地図のアイコンもすべてオリジナルで作成しました。

この「きたひろしま農園マップ」は6月に北広島市全世帯に配布される予定で、さらに「じゃらん6月号」にも掲載されました。



## 神恵内村“道の駅”の 展示用棚づくり

建築学科の君ゼミでは、神恵内村役場との地域連携の一環として、道の駅に設置する展示用棚の設計・デザイン・製作を行いました。ただデザインをするのではなく、機能を活かしたデザインのアイデアを出し合い、そこから設計し、製作では実際に木を切ったり、削ったりして、ものづくりの楽しさや大変さ、作業の計画や工程、さまざまなことを学ぶことができました。無事に道の駅への設置も完了し、またひとつ、よい経験ができました。みんなで一つのものをつくり、それが完成した時の喜びは忘れられないものとなりました。



## 柔道部

星槎道都大学柔道部は全国各地から集まった部員が朝のトレーニング、授業後の練習を中心に日々稽古に取り組んでいます。全国大会での上位進出を目指しています。北海道学生柔道では約40年常にトップを走っており、全国大会での上位進出を目指しています。また昨年世界柔道選手権東京大会にはプータン王国からの留学生2人が出場しました。現在、コロナウイルスの影響で本来の練習、大会が行えていない状況にありますが、来るべき時に備え出来ることを着実にこなしているところです。

～昨年の主な実績～  
全日本学生柔道優勝大会 男女出場  
全日本学生柔道体重別選手権大会 男女計18名出場  
全日本学生柔道体重別団体優勝大会 男女出場  
全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 ベスト8  
世界柔道選手権東京大会 出場 他



## 女子バレーボール部

星槎道都大学女子バレーボール部は、少人数ながらも活気をもって活動をおこなっており、北海道、そして全国で戦っていく力を身に付けられるよう、日々練習に取り組んでいます。向上を目指す技術の細部にまで焦点を当て、目的を明確にした上での個々が課題に向き合いながら練習を実施しています。チームとしては、大学生らしく主体性を尊重し、一人ひとりが組織のメンバーとしての役割を担って、チーム運営を実施しているのが特徴です。また、技術向上の過程における課題解決能力や、目標達成に向けたプロセスの組み立てといった、実社会で必要とされる能力や考え方を実践し、バレーボール部での活動を媒介として人間の成長を目指しています。



## 硬式野球部

明治神宮大会決勝進出ほか  
北海道の球史に輝く実績

札幌六大学野球春季リーグ戦優勝6回、秋季リーグ戦優勝6回、全日本大学野球選手権大会出場5回、3度目の出場と会った第48回明治神宮野球大会(2017年)では北海道勢初の決勝進出を成し遂げ準優勝。

星槎道都大学硬式野球部は、輝かしい実績を有します。ここ10年間で3名のプロ野球選手を輩出しているほか、社会人野球界でも数多くの選手が活躍しています。あなたも、高いレベルでの野球を経験し、夢に向かってみませんか!?



## 男子バスケットボール部

男子バスケットボール部は現在23名の部員がおり、目標の“全国で通用するチーム”になるべく努力を続け、近年成長しています。まずは目標の前段として“北海道で心身ともにNo.1の学生”になることを掲げ、インテグリティ(誠実さ・真摯)の精神を育み、人間性を高め「ONE TEAM」で目標が達成できるよう楽しく練習に励んでいます。

また、新年度から女子バスケットボール部を発足致します。最短でインカレ出場を果たす目標を掲げて日々の練習に邁進していきます。

2023年には北広島市が日本ハムファイターズのホームタウンとなり、より一層発展していくこの街で、自己の能力とやる気を向上させ、高みの目標に向かって充実した学生生活ができるようサポート致します。やる気、情熱のある高校生の皆さんお待ちしています!



**高大連携校** 旭川明成高校にて出張トレーニング講座を開催

2019年12月9日(月) 本学と高大連携を結んでいる旭川明成高校にて本学のスポーツ専攻の教員を派遣して出張トレーニング講座を開催しました。当日は硬式野球部、サッカー部、ソフトテニス部と総勢50名の生徒さんに集まっていた。スポーツパフォーマンスの向上のためのトレーニング方法や食事、睡眠のとり方などを高校生に向けて講演しました。トレーニング方法も各スポーツに応じた身体の使い方から筋力トレーニングの正しいやり方まで詳しく紹介しました。例えば、サプリメントの摂取の仕方、効果的なプロテインの飲み方など各方面で活躍しているアスリートを例にとり、より実践的なパフォーマンス向上を意識した競技生活を送れるように細かく伝えました。参加した生徒さんの中にも将来保健体育の教員を目指している人やスポーツ関係の仕事に興味を持っている人も多くいたので、当日は「充実した内容でした。」という感想が多く聞かれました。今後もスポーツに限らず分野に応じて専門の教員を高校に派遣して講演や出張授業を多く行っていきます。



**高校生バンド大会** 第8回キタヒロ軽音フェスを開催



2020年1月26日(日)、北広島市芸術文化ホールにて、北広島市と星槎道都大学が共催する高校生バンド大会-第8回キタヒロ軽音フェスが開催されました。予定を上回る18校49バンドの申込があり、軽音楽部学生を中心に組織する実行委員会で映像審査を実施しました。当日は16校24バンドが出演。道内各地より個性豊かな高校生バンドが集まり、大変盛り上がりしました。最優秀バンド賞は北海道伊達高等学校「ZeRo StaRt」が受賞。今回大会では新たに、実行委員会スタッフがInstagramでも情報発信を行うなど、大会を盛り上げるために工夫を重ねています。大会の様子はYouTube動画でもご覧いただけます。



**インターンシップ体験報告**

**インターンシップ受入先：北広島市役所**



建築学科3年 駒翼 北海道札幌啓成高校出身

**インターンシップに参加しようと思ったきっかけは?**  
その業界、企業の雰囲気を知るためです。

**インターンシップ後の目標は?**  
自己理解をより深掘りすることと業界研究を進めることです。

**インターンシップで一番大変だったことは?**  
日報を書くこと(特に前日と同じ業務を行った日)です。

**インターンシップに行く前と後では、「働く」ことへのイメージはどのように変わりましたか?**

働くことへのイメージは変化しませんでした。その企業、業界についてのイメージは変わりました。  
例えば、そこで働きたいという意欲が出る、全く関心がなかった仕事に興味を持つ、自分の世界が広がるなどといったプラスの変化もあれば、その逆もあります。

**インターンシップに参加してよかったことや成長したことは?**  
その企業、業界の雰囲気を知ること、知識を得ることはもちろんですが、一番は就活へのやる気を得られることだと思います。実際に業務に携わる、もしくはそのシミュレーションを体験することで「そこで自分は

働けるのか」、「そこで自分は働きたいのか」、「それは何故なのか」など様々な疑問が浮かんできます。そしてそれらについて考えたとき、自己分析、企業研究がどれだけ進んでいないかを痛感して焦りを感じたり、もっと就活に取り組みないといけないという気持ちになると思います。

**インターンシップを体験して就職活動に対する考え方で何か変化はありましたか?**

自分の学科とは関係がなく、全く関心がなかったITに興味を持ち、それに携わる仕事がしたいと思うようになりました。ITに対する考えが180度変化したのと同じで、今までに得た経験や知識をもとに正しくないフィルターを無意識にかけて世界を見てしまっていることに気がつきました。そのため、より多くの情報を収集し、物事を見ようと思えるようになりました。

**これからインターンシップ参加を考えている人へメッセージをください**

とにかくインターンシップはたくさん受けた方がいいです。さらに、自分の学科に関わる業界のみならず全く関係のない業界にも目を向けると良いと思います。どんな企業に入りたいか決まっていなくてもいいのですが、既に将来の道を決めている人こそ、今一度立ち止まって考えてみて欲しいです。きっと素晴らしい発見が待っています。

**インターンシップ受入先：北海道警察**



社会福祉学科4年 高木 ラリッサ アヤ 星槎国際高校湘南学習センター出身

**インターンシップに参加しようと思ったきっかけは?**  
自分の視野を広げるためです。

**インターンシップ後の目標は?**  
自分の就きたい職を明確にし、それに向け準備を進めていくことです。

**インターンシップで一番大変だったことは?**  
その職に対し、自分自身が実際に働く側になったことを想像することです。

**インターンシップに行く前と後では、「働く」ことへのイメージはどのように変わりましたか?**

どんな職に対してでも、自分自身が「やりがい」を感じる事で働く事に対しての不安をなくし、継続力に繋がると思うようになりました。

**インターンシップに参加してよかったことや成長したことは?**  
参加した事により、自分の知らなかった職種を知ることや、人脈を広げることが出来ました。また、そういったことで自分の視野の狭さに気づくことが出来ました。

**インターンシップを体験して就職活動に対する考え方で何か変化はありましたか?**

積極的に、かつ早めに行動することが大事だと気付かされました。  
これからインターンシップ参加を考えている人へメッセージをください

迷っているなら、行動をするべきです。行動を起こさない限りそれが成功となるか失敗となるかが分からないです。何もかも挑戦からです!



建築学科4年 齋藤 ゆき 旭川藤女子(現旭川藤星)高校出身

北海道セキスイハイム株式会社 内定



3年生の夏から合同企業説明会に参加し、気になる企業はすべてインターンシップに行きました。インターンシップに参加して他社との比較をすることで、それぞれの企業の理解を深めることができました。

また、内定をいただいた企業は志望度が1番高く、その企業が主催したインターンシップや見学会は、すべて参加したと思います。内定をいただいたときは、本当にとても嬉しく思いました。

他社にもエントリーしていましたが、良い結果を得ることができず、私は志望度の低さを見られたのではないかと考えています。そのため、就職活動において1番大切なのは、「ここで働きたい」という強い気持ちだと思いました。